

# 生産性向上に向けた牛の活動量センサーの活用（釧路農業改良普及センター）

## 背景

### 【標茶町の概要】

○釧路総合振興局管内のほぼ中央に位置し、年間の平均気温は約5℃と冷涼な気候である

○農地の約95%が草地として利用され、酪農・畜産経営が基幹の地域である



### 【地域の課題】

○遺伝的改良により泌乳能力向上が進む牛群の繁殖成績維持

○繁殖管理における作業者の発情発見技術の差の解消

○発情発見の補助ツールとして活動量センサーの導入が進んでいるが、活用事例の情報不足している

## 普及活動内容

○販売メーカーごとに機能および利用料金について調査し、活動量センサー導入のメリット・デメリットを整理



個体の反すう・活動・休息をセンサーで感知して、時間を計測する



センサーを装着した乳牛

○繁殖管理に使用している農場の事例調査・感想の聞き取り



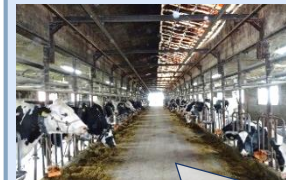
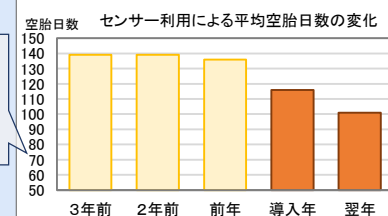
## 普及の成果

### 【具体的な成果】

○調査によって、活動量センサーの特徴・活用事例が整理できた

事例調査によって把握された酪農場の声

センサー導入によって空胎日数が短縮



センサーのデータを獣医師の診療で利用



データを活用して発情発見の精度が高まった

○得られた事例から、関係機関や利用を検討している農家へ活用のための情報提供をした

### 【成果のポイント】

○事例調査により、経営形態による導入メリットの違いについて情報提供が可能になった